

七月八日 講師平井小二郎、依願解嘱。

同月十三日 生徒主事補高橋吉雄は書記兼生徒主事補に任命される。

同月十九日より三十一日まで(四回) 日本体育専門学校教授万代鹿三および同校生徒三浦甲子蔵は学徒鍛錬体操指導を嘱託される。

同月二十二日 教授朝倉文夫、同北村西望は内閣より特殊回収銅物件審査会委員に任命される。

八月六日 愛知県明倫中学校教諭兼同校夜間中学校教諭寺田春弐(昭和十一年油画科卒)は本校生徒主事補に任命される。

同月九日 教授村田良策は生徒主事兼任を命ぜられ、教授多賀谷健吉、同北村西望、同森田亀之助は生徒主事兼任を免ぜられる。

同月十八日 工芸技術講習所助教教授兼本校助教山崎覚太郎は工芸技術講習所教授兼本校教授に任命される。

同月三十日 工芸技術講習所教授森田武は本校教授兼任を命ぜられる。

九月一日 日本画科第一学年関口雄三郎、彫刻科塑造部第二学年今宏は学徒鍛錬指導を嘱託される。

同月六日 教授広川松五郎は教員志望者の図案授業担任を免ぜられ、図案原理、東洋工芸史授業担任を命ぜられる。教授松田義之は手工教員志望者の図案、教授法および教授練習授業担任を命ぜられる。助教教授羽野禎三は図画教員志望者の図案授業担任を命ぜられ、講師小池岩太郎は師範科の図案授業兼任を命ぜら

れ、書記兼生徒主事補高橋吉雄は教員志望者の手工教授法および教授練習授業担任を免ぜられる。

同月三十日 鬼沢美濃作(昭和十八年師範科卒)は講師を嘱託され、体操および教練担任並びに師範科教務兼任を命ぜられる。

十一月 岸熊吉、新納忠之介、富田一昭は本校生徒奈良県下修行の臨時実地指導を、入江波光、安間立雄は同じく京都府下における実地指導を嘱託される。

同月十九日 講師鬼沢美濃作は臨時召集を受けて入営。

十二月四日 助教教授八田辰之助、講師関野克は臨時召集を受けて入隊。

同月十三日 品田慎一(昭和二年金工科鍛金部卒)は鍛金実習授業担任講師を嘱託され、鍛金部理事に任命される。

同月三十一日 講師豊田朝一郎、文庫課嘱託大口和夫は依願解嘱となる。

③ 昭和十八年度入学者

日本画科予科

昭和十八年四月一日入学

稲木厚生 静岡

同 浜田文治 千葉

同 川崎鈴彦 愛知

同 吉田悦郎 東京

同 高島昭堂 富山

同 上野泰郎 東京

同

同

同

同 増田正 愛知

同 小泉淳 静岡

同 小堀正明 東京

同 近藤弘明 東京

同 佐田実 東京

同 佐久間聖史 千葉

同 佐々木磐 東京

同

同

同

同

同 鬼頭 曄ひら 東京
 同 木下 猛 彦 東京
 同 篠崎 正文 千葉
 同 平岩 俊郎 愛知
 同 森 峯 三 東京
 同 末 広 禎 三 山口
 同 日本画科予科特別学生
 同 崔 耀 義 中華民國

同 油画科予科特別学生
 同 兼松 重峰 石川
 同 加納 倭文しげか 雄 東京
 同 渡部 周三 福島
 同 大塚 清六 福島
 同 知念 栄謙 沖繩
 同 早川 文彦 愛知
 同 八は藤 清 岡山
 同 井口 啓とも 神奈川
 同 猪口 浩司し 福岡
 同 井上 悦三 東京
 同 油画科予科
 同 小 山 宇な 司し 広島
 同 小 山 義 雄 千葉
 同 後 藤 義 雄 千葉
 同 小 林 炳 長野
 同 藤 本 寅と 斗ま 朝鮮慶北
 同 藤 沼 源 三 岩手
 同 藤 井 恒 男 広島
 同 牧 野 邦 夫 神奈川
 同 馬 越 轄 男 東京
 同 館 野 嘉 男 栃木

同 油画科聴講生
 同 劉 榮 夫 中華民國
 同年五月二十八日
 同 萬 金 声 満洲国
 同 彫刻科聴講生
 同 林 保 次 郎 神奈川
 同年四月一日入学
 同 岡 田 耕 司 大阪
 同 岡 田 耕 司 大阪
 同 武 井 斌は 長野
 同 田 潤 俊 平 香川
 同 田 潤 俊 平 香川
 同 染 谷 康 永 東京
 同 深 沢 龍 一 東京
 同 二 木 忠 孝 台湾台北
 同 寺 内 幸 雄 東京
 同 三 枝 恭 也 茨城
 同 北 古 賀 二 郎 佐賀
 同 三 橋 六 郎 東京
 同年四月十日入学
 同 水 野 親 治 岐阜
 同年四月一日入学
 同 白 川 泰 敏 朝鮮慶北
 同 洪 谷 隆 一 神奈川
 同 基もと 俊 太郎 鹿児島
 同 油画科予科特別学生
 同 吳 讓 賓 中華民國
 同 ナーノン グ・パ タ イ

同 彫刻科木彫部予科
 同年四月一日入学
 同 小 倉 豊 大阪
 同 高 山 博 安 長野
 同 邑 田 佐 賀 男 静岡
 同 藤 岡 幸 夫 奈良
 同 雨 宮 誠 山梨
 同 佐 野 一 義 東京
 同 志 良 以 巖 静岡
 同 工芸科图案部予科
 同 一 噌 元 治 東京
 同 今 泉 帙 太 佐賀
 同 石 川 進 愛知
 同 富 沢 信 作 石川
 同 高 宮 武 夫 神奈川
 同 多 米た 於 菟 彦 静岡
 同 奈 須 田 正 也 福井
 同 前 沢 賢 治 東京
 同 松 岡 正 三 三重
 同 藤 原 喬 大 阪
 同 藤 沢 隆 三 神奈川
 同 佐 藤 義 明 東京

同 清水 英夫 北海道
同 森脇 恒兵庫
同 工芸科彫金部
同 大伊賀 貞雄 静岡
同 田代 勝彦 福岡
同 内田 慶一 広島
同 海老沢 啓 東京
同 工芸科鍛金部予科
同 大原 泰景 朝鮮京畿
同 山下 恒雄 神奈川
同 山本 直久 富山
同 工芸科鑄金部予科
同 飯田 三美^ミ 茨城
同 門田 光秋 高知
同 中村 精一郎 京都
同 藤本 俊治 大阪
同 浅田 佐一 埼玉
同 岸 武 神奈川
同 宮田 宏平 新潟
同 工芸科漆工部予科
同 若尾 秀樹 大分

同 今泉 政司 東京
同 大岡 健一 石川
同 田中 光 岩手
同 山岸 寿治 京都
同 宮野 光雄 石川
同 齋田 健三 大阪
同 鈴木 秩^キ 愛知
同 建築科予科
同 加藤 寅正 愛知
同 吉川 晴夫 神奈川
同 高橋 一雄 東京
同 武内 芳夫 東京
同 武笠 士郎 埼玉
同 窪田 保彦 大分
同 矢部 行一 新潟
同 山根 基助 島根
同 山喜多 次世志 福岡
同 阿部 允^マ 山形
同 粟冠^カ 康勝 東京
同 木内 於菟^ウ 千葉
同 塩出 秀郎 広島

④ 各科生徒級別現員表

彫刻科木彫部	彫刻科塑造部	油画科		日本画科		区別
		学生	特别	学生	特别	
本科	本科	三三	一一	一九	一一	予科
七	一五	三三	一一	二二	一一	第一年
七	一七	三二	一一	二一	一一	第二年
六	一三	三五	一一	一九	一一	第三年
一〇	一二	三七	三	二〇	一一	第四年
七	一四	三〇	一四	一九	一一	計
三七	七二	一六六	八	九八	一一	研究科
七	一二	二	二	四	一一	小計
四四	八六	一七六		一〇三		

昭和十八年四月一日

同 森 康二 滋賀
同 師範科第一年
同 石川 勇 岐阜
同 石丸 美作男 岡山
同 原田 鏢^シ 一 愛知
同 浜田 一男 愛媛
同 堀越 政寿 福島
同 大沢 寛 埼玉
同 尾崎 幸雄 東京
同 鎌田 銀次郎 静岡
同 高橋 多一 北海道

同 上田 武 福岡
同 八^ヤ子 一郎 新潟
同 安田 巖 岐阜
同 藤瀬 敬 香川
同 新井 秀一郎 埼玉
同 西光寺 亨 愛知
同 三浦 顯 榮 新潟
同 宮本 浩 和歌山
同 篠田 喜与志 埼玉
同 杉田 浩一 神奈川